【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年1月28日(2022.1.28)

【国際公開番号】WO2019/192247
【公表番号】特表2021-520715(P2021-520715A)
【公表日】令和3年8月19日(2021.8.19)
【出願番号】特願2020-554122(P2020-554122)
【国際特許分類】
H04W 64/00(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ 64/00 １７１

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月20日(2022.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アクセスネットワーク要素に適用される位置情報測定実現方法であって、
補助測位情報を端末に送信することを含み、前記補助測位情報は、前記端末による測位測定に適しており、
前記補助測位情報は、
測位ノードに関する情報を含み、
前記測位ノードは、ブルートゥース（登録商標）ノードを含み、
前記測位ノードに関する前記情報は
前記ブルートゥース（登録商標）ノードの名称を含む、方法。
【請求項２】
前記補助測位情報を前記端末に送信することは、前記補助測位情報を、無線リソース制御（ＲＲＣ）シグナリングを通じて前記端末に送信することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記補助測位情報を前記端末に送信することは、前記補助測位情報をシステムブロードキャストメッセージを通じて前記端末に送信することを含む、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記補助測位情報を前記端末に送信する前に、
コアネットワーク要素、ネットワーク管理デバイス、および近隣の基地局デバイスのうちの１つから前記補助測位情報を取得することをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記アクセスネットワーク要素は基地局を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
端末に適用される位置情報測定方法であって、
アクセスネットワーク要素によって送信される補助測位情報を受け取ることと、
前記補助測位情報に従って測位測定を行うこととを含み、
前記補助測位情報は、測位ノードに関する情報を含み、
前記測位ノードは、ブルートゥース（登録商標）ノードを含み、
前記測位ノードに関する前記情報は、前記ブルートゥース（登録商標）ノードの名称を含

む、方法。
【請求項７】
前記補助測位情報に従って前記測位測定を行うことは、
補助測位情報要件を満たしていない複数の測位ノードが測位ノードから除外されるようフィルタリングされるように、前記補助測位情報に従って前記測位ノードをフィルタリングすることと、
前記フィルタリング後に取得される測位ノードに従って測位測定を行うこととを含む、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記アクセスネットワーク要素は基地局を含む、請求項６に記載の方法。
【請求項９】
アクセスネットワーク要素であって、
メモリと、プロセッサと、前記メモリに格納されるとともに前記プロセッサ上で実行可能な位置情報測定実現プログラムとを含み、前記位置情報測定実現プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項１に記載の位置情報測定実現方法を実現する、アクセスネットワーク要素。
【請求項１０】
前記位置情報測定実現プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項２に記載の位置情報測定実現方法を実現する、請求項９に記載のアクセスネットワーク要素。
【請求項１１】
前記位置情報測定実現プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項３に記載の位置情報測定実現方法を実現する、請求項９に記載のアクセスネットワーク要素。
【請求項１２】
前記位置情報測定実現プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項４に記載の位置情報測定実現方法を実現する、請求項９に記載のアクセスネットワーク要素。
【請求項１３】
前記位置情報測定実現プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項５に記載の位置情報測定実現方法を実現する、請求項９に記載のアクセスネットワーク要素。
【請求項１４】
端末であって、
メモリと、プロセッサと、前記メモリに格納されるとともに前記プロセッサ上で実行可能な位置情報測定プログラムとを含み、前記位置情報測定プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、請求項６に記載の位置情報測定方法を実現する、端末。
【請求項１５】
前記位置情報測定プログラムは、プロセッサによって実行されると、請求項７に記載の位置情報測定実現方法を実現する、請求項１４に記載の端末。